

届出施設設置（使用・変更）届出書

年 月 日

豊 中 市 長 様

届 出 者 住 所

氏 名

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大阪府生活環境の保全等に関する条例第 19 条第 1 項（第 21 条第 1 項・第 23 条第 1 項）の規定により、届出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		(電話番号)	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		(郵便番号)	※受理年月日	年 月 日
届 出 施 設 の 種 類			※施設番号	
			※審査結果	
ばい煙	届出施設の構造	別紙 1 の 1 のとおり	※備考	
	届出施設の使用又は管理の方法	別紙 1 の 2 のとおり		
	ばい煙等の処理等の方法	別紙 1 の 3 のとおり		
粉じん	届出施設の構造、使用又は管理の方法及びばい煙等の処理等の方法	別紙 2 の 1 から別紙 2 の 4 までのとおり		
添付書類 1 届出施設及びばい煙等の処理等を行う施設の設置場所を明記した図面（工場又は事業場の平面図） 2 工場又は事業場の付近の見取図（指定有害物質以外の有害物質に係る届出の場合に限る。） 3 変更概要説明書（変更届の場合に限る。）				

参 考 事 項

工場又は事業場の事業内容		届け出すべき者が常時使用する従業員数	
工場又は事業場の規模		資本金	
当該届出についての担当部課名及び緊急時連絡先(電話番号)			

- 備考 1 届出施設の種類の欄には、大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第 3 各号の表にまでに掲げる項番号及び施設の種類を記載すること。
2 別紙については、届出施設の種類に応じて、必要なものを添付すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。

別紙1
別紙1の1

ばい煙発生施設の構造
届出施設の構造 (ばい煙)

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規 模	伝熱面積 (m ²)		
	燃料の燃焼能力 (重油換算L/h)		
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積 (m ²)		
	羽口面断面積 (m ²)		
	変圧器の定格能力 (k V A)		
	触媒に付着する炭素の能力 (k g / h)		
	焼却能力 (k g / h)		
	乾燥施設の容量 (m ³)		
	電流容量 (k A)		
	ポンプの動力 (k W)		
	合成・漂白・濃縮能力 (k g / h)		
添付書類 ばい煙発生施設 (届出施設) の構造概要図 (主要寸法を記入すること。)			

備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始年月日の欄に、それぞれ記載すること。
2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。

別紙2
別紙1の2

ばい煙発生施設の使用
届出施設の使用又は管理の方法 (ばい煙)

工場又は事業場における施設番号							
使用状況	1日の使用時間及び月間使用日数等	時から 時まで 時間/回、 回/日、 日/月			時から 時まで 時間/回、 回/日、 日/月		
	季節変動						
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合 (%)						
	1日の使用量						
燃料又は電力	種類	(比重)			(比重)		
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	いおう分	窒素分	灰分	いおう分	窒素分
	発熱量 (kJ/L、kJ/m ³ 、kJ/kg)						
	通常の使用量 (L/h、m ³ /h、kWh)						
	混焼割合						
施設の使用形態							
排出ガス量 (m ³ /h)	湿り	最大	通常	最大	通常	最大	通常
	乾き	最大	通常	最大	通常	最大	通常
排出ガス温度 (℃)							
排出ガス中の酸素濃度 (%)							
ばい煙の濃度	ばいじん (g/m ³)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)
		最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)
	いおう酸化物 (ppm)	最大	通常	最大	通常	最大	通常
		最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)
	窒素酸化物 (ppm)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)
		最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)	最大 (O ₂ = %)	通常 (O ₂ = %)
	(ppm、mg/m ³)	最大	通常	最大	通常	最大	通常
(ppm、mg/m ³)	最大	通常	最大	通常	最大	通常	
(ppm、mg/m ³)	最大	通常	最大	通常	最大	通常	
ばい煙量	いおう酸化物 (m ³ /h)	最大	通常	最大	通常	最大	通常

ばい煙等の発生及び処理等に係る操業の系統の概要 (作業工程)	
参考事項	

備考 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載に当たっては、重量比 (%) 又は容量比 (%) の別を明らかにすること。
 2 通常の使用量及び排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態 (この項において「標準状態」という。) における量に、発熱量及びばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 4 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設 (ばい煙の処理等を行う施設) がある場合は、処理後の濃度とすること。
 5 施設の使用形態については、届出施設からの排出ガス抑制方法 (排ガス処理又は密閉構造等) について記載すること。ただし、密閉構造の場合は、次の工程等での作業及び排出状況を明らかにすること。
 6 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用 (専ら非常時において用いられるものをいう。) の別を明らかにすること。

別紙3 ばい煙の処理方法
 別紙2 揮発性有機化合物の処理の方法
 別紙1の3 ばい煙等の処理等の方法 (ばい煙)

ばい煙処理施設 (ばい煙等の処理等を行う施設) の工場又は事業場における施設番号						
処理に係るばい煙発生施設 (届出施設) の工場又は事業場における施設番号						
ばい煙処理施設 (ばい煙等の処理等を行う施設) の種類、名称及び型式						
設 置 年 月 日		年 月 日		年 月 日		
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日		年 月 日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日		年 月 日		
処 理 能 力	排出ガス量 (m ³ /h)	最 大				
		通 常				
	排出ガス温度 (°C)	処 理 前				
		処 理 後				
	ばいじん (g/m ³)	処 理 前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処 理 後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処 理 効 率				
	いおう酸化物 (ppm)	処 理 前				
		処 理 後				
		処 理 効 率				
	窒素酸化物 (ppm)	処 理 前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処 理 後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処 理 効 率				
	(mg/m ³) (ppm)	処 理 前				
処 理 後						
処 理 効 率						
(mg/m ³) (ppm)	処 理 前					
	処 理 後					
	処 理 効 率					
ばい煙量	いおう酸化物 (m ³ /h)	最 大	処 理 前			
		通 常	処 理 後			
			処 理 前			
		処 理 後				
使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 間 使 用 日 数 等 季 節 変 動		時 から 時 まで 時間/回、 回/日、 日/月		時 から 時 まで 時間/回、 回/日、 日/月	
排 出 口 の 実 高 さ H _o (m) 及 び 頂 上 口 径 D (m)	H _o D		H _o D			
排 出 口 の 番 号						
陣 傘 の 有 無	有 ・ 無		有 ・ 無			
補正された排出口の高さ H _e (m)						
排 出 速 度 (m/s)						
排出口の中心からその至近距離にある敷地境界線までの水平距離 (m)						
添付書類 ばい煙処理施設 (ばい煙等の処理等を行う施設) (煙突、フード、ダクトを含む。) の構造概要図 (主要寸法及び測定箇所を記入すること。)						

排出口の中心からその至近距離にある他人の所有する建築物 (倉庫等は除く。) の実高さ h (m) 及び水平距離 d (m)	h d	h d
ばい煙測定口の有無及び口径	有 (口径 mm) ・ 無	有 (口径 mm) ・ 無
届出施設 (指定有害物質に係るものに限る。) に係る使用及び管理の状況の記録事項		

- 備考 1 設置届出の場合には着手年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。
 2 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態 (この項において「標準状態」という。) における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
 3 ばい煙の濃度は乾きガス中の濃度とすること。
 4 補正された排出口の高さ H_e は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
 5 参考事項として、処理効率に係る設計上の基本的事項に関する資料を添付すること。